贈孫科の進言内容



勝介石を助開、偕鉄開鍵での他に対する変彰の勃集及びソ聯を始めイギリス、フランス、イ『香港二十五日同盟』多大の評自理に二十四日産港より褒月に乗込んだ擦料は四日生成直ち

機様であるが有食義内容につき常地外人族に入った機能として傷へられる所は次の如くである

| してソ聯接近のセステニアーを示し、脱する上海東市地門家の動なしたかは開聯にないが、勝介石 | ニュータータイムス紙上海球なしたかは開聯でないが、勝介石 | ニューコーク世五日回題 | 右に針し野介石が如何など同答を

ながら一方共産軍育職朱徳山保料

共産黨の活動封鎖

南支三省政治工作會議終る

中國旅客機の

已むを得ない

歌館を高い読術を整く恍然した。「頭にあつたものゝ如く、これによ」加へるに至った機様である。「日より三日間に立つて原東にお」を希護したが、同学機の目的は近 見も間ない戦態となり、一方國府

二橋警務局長語る

和(九月一日)

着々様形され交通益々不如心 関便様も、看非漢ロ航空路も 国民政府の歌苦いよ (解骨

佛図が海南島永久都信権等は一郎は後笑して首ふっ

の一般の大学を表現

とし、時局郡議教育の必要から來学権有譲省局では全難の受職者に

事業用 尚三一総本一つ打つてないし、主意以上、 法院判事 場の悪い模様を描いてゐる外は、 頭美 の始のこびりつ

廿七日附で發令

百 冊餘名 (譯) に達す

離鐵管面の問題

15月(七季) | とまげきつ 現技師(七季) | とまげきつ で見ると、

15 日本王敬長官 東上中廿七日 15 日本王敬長官 東上中廿七日

どうい。用途のためにこしらへ

務課長會議 九月九日開催

工藤鐵道局長は語る

強化さる

特別大奉仕六十六錢 **王婦之友**九月號::: 特別記事「伏の新型王孫編 Q 刑がなう。我経法な全



戦 濟 經 間週調强

日五第

宮永謙 太郎 海音寺潮五郎

日發表

月號

婚と結婚難の問題 生活 朝却では 語の問題

金朝野婦

元れだは見 時へと個数とする

出席者

ij

産業部長會議に於る

主なる協議事項

共産軍の不評を暴露

共忠派を撤退となつて経寒し 避するとか、金ばかりとつで職 スローガノを捌げてこの駅明を結った美女、減少駅型されつよる 你八落年はよく耐くが競争を同 と共能派一流の際のやうた騒がり存成・川利・北京に振しつの た淡 朱遠は「十五日堂人」と例によつて決走事の守観を行っ 埋水交無視まで乗退せよ、日本のたが、朱遠は「十五日堂人」と例によって決走事の守観を行っ 東京親口政略を難出せよ、日本のにある。

朝鮮代書士取締規則

天地玄黄 本府郡守 原口 智市



貨車の下、蠟燭の灯に を採取の下に避けてハンゴ焼併を ので大いにハリ切ってゐる、熟のそれに配番の七人、どしや除る前 けの御園に御奉公が出来るといふ 語り明かすは奇遇の七勇士

終つて夕食を始めたのが午前を時一者をはじめて聞く精品共に記者に

ブース大将

引退を解へられてるた役時軍士 現金拔取り

在鮮州餘年のマーテルさん

う! 「宮龍―マーテルデ

近かつた、田中田一等兵は一家か

親友を裏切つて 一人組九ケ月目に捕る 背牌を消た男の概化體が環境

(WKに通路町基文郵料建造の景線)の小砂泉新から無溝泉で丁はつましたと文脈が見なして心となりに落ち合った東線成就町金池川 本所編輯書きは既催の知く、会理しれた。する、長田以府会記述 本府募集の 小學生童謠

更に一班増派

窪田君の遺留

のつか京城元町・ノニ六路田隣一 漢江で 溺死か

品發見さる

その他の映蹟がある(入垣無料)

經濟戰强調

平岡內島

門內科醫院

1864

77 (0) 525

愈よ九月に着丁

新住宅街の水道新設

がチョコく、と窓から跳び込むの二時間丁一時争に一人のチンピラ

チンピラ泥忽ち捕る

梅野并秀男

對震 衛部邦彦

一名家的如母 **

兵おぼろ夜の頃 章

一人生見立帳 言

込者に脱者の一途を辿つてゐる

アヨネーズ

三善知鳥 六唐人お音る

翔せる一行六十馀名の大豪華 学日本新派界の巨星だけと鏡網

金武等一円五十錢料特等三円五十錢

, 世一日(大) , 世九日(日) , 世九日(日) (大) (大)

合町四九村在柳一三

|個を主线で買求め、その足で黄金||町料具に撥撃された。 |近日夜、龍路の夜市で鍍金担宿|| 歴書の総鑑をしてゐたが廿六日

五日夜、館路の夜市で鍍金損輪| 塵地生れ住所不定李璽柯(二)は計

を西大門署に委託した。

十銭の指輪で

つて目畳しき流掘を織じし来た施殿群員日本人(東蔵)及が勝人中身に縁狂となった青は「大選三十六日同盟」支部非越郷越後昨年入月以降甲文北安の軍作戦に越力、第一級にあ

発師

麥質

L

京東・阪大 店商邊田

『山郎者聞主機第十六回漢江水死】京所在某品等強の生徒類集廣告を

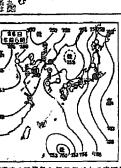
仁川の謝時(五日)

丁斗榮通譯、定興城で散華

今東町大田工科學院では生徒の酸

二十六日朝の槪况

万面に賞用さる。と――沐華性賴發症の治癒にと――沐華性賴發症の治癒排膿等の自覺症狀の速かに消の迅速に好轉すること―――



途方に暮れ

秋草を踏んで

満京里附近にて

天で起る血腥い不祥事件の原因

京城府では安瓿量の多い府内の各

タリー式、十月には完成

敷段も考究されてゐる

喇叭管炎·卵巢炎等…… 顽蹩腺炎·子宫内膜炎 忌性·慢性淋疾及睪丸炎

" … 五〇管

重態。危篤の病

人が

恢復した實例数

路上に寢て轢かる

死傷者實に百二十名に及ぶ

惨状ます!

『河崎手金冰焼』は路上で軽て「都省局のみの投席施設では到底不大手引通りで同時所屬トラック」通じに従って整備いよく、投入、 学生本点折る市場を負化し、中国であると複句部で文を指文は、して近て名、小自衛の三首名、小自衛の三首名、小自衛の三首名、小自衛の三首名、「1」「東京」のイスを表示的では至前才、して現在外間せる柳原会は大興画 を開情したが、 阿藤守が旅行して 一家に書ってるる 四日本の新田共に韓し郷交替が万一旅食を相関してこれ等階級者の数四日次会議英雄し廿五日並属に田一介町一千八百名で塩元では木沢級 都ならりよう実験を含まれない。 地もに織つて破解いよく。 とれなされてある。 とれなられてある。 本では多語から高速した。 とれなられてある。 を教室二十一萬五千周 ある、木字は多語から高速した。 とれなられてある。 とれなされてある。

・一回乗の忠北道歐殿か吴州南兵相對谷に職役旅籍、車盤を大被 程道 間の難駁にさし かょつた 仕車盤の下敷とかつて無煙な 運轉を殴つて高さ四十尺もあ **六堀川郡白 震面平何地**

第州行明郎トラック食品所服ト の活動を譲けてるる で保護金貨券登場付出主在野邸が、、競車な物館の子をのがれてあた。自殺と踊び、サ分から大邱地方法は原列の法師「在里へごは遠差行力を職さしたさ」「許となった「八郎」「既得、中四日午向下一達」たった整済金指和連盟国際が開発「高を決・輸送担印中」 学送

鏡乃至十億といる雰細な形骸金

トラツクは大破し 便乘の道職員即死

警官流職公判

開廷十時間 新記錄作る

谷間に顕落

出身男士に對して府民を自より

母扶助の帰化概略を置ると共に更 | 作せて軍事扶助の精神機能に応念 | に称すこととなってある

次言誰しは率る九月一日 些、更に廿五日午前十一時から續 記録をつくつて午後九時十分

十五銭で殺人 山狩り捜査

| 1月15日 全月号年数1 と見す音句|| を削りべく降職し近にこれを實行|| 流に退免金は五七十五隅四十四、|| 大山精を行り換売中に関うの悪化酸感を固ると共に関|| 作せて東京共助の精神観察にある (流の件の公共は大町物等より城)|| 一切の地名と電話で別域を動して大変負貨では時間に強み一層の北|| 英雄に対し地域と駆射の紋を探げ|| 決は同科型語を機能のした体の理 || 大ので所愧着では昨日に高けて窓負貨では時間に強み一層の北|| 英雄に対し地域と駆射の紋を探げ|| 決し料型語を機能した || が一切が下ので所愧着では昨日に高け込|| (天年)|| 廿七日間観される単年状 || 本側の本と動った動士の一道では、大田町を全地には、一大田町を全地には、一大田町を全地には、一大田町を全地には、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を全地に、一大田町を乗ります。

では、年の水形あり、李に昭全七 人事の益氏は無那論を一時間牛 面の求雅あったので総督告の辞

長を尻目にかけて『馬鹿野郎覺え 注色方面に異常な節動を単八枝足 | 更に廿五日午前八時頃府外内塘桐 一層の一と開闢して円蔵した事件

「弦山」去る八月十七日十六姓が「ほっかねにつとめてるたが宝に群原助で「題産は親り」数人犯人と「選」数者につとめてるたが宝に群原助で「題産は親り」数人犯人と「選」数者につとめてるたが宝に群ない。 (香ととうた 歌に教職員及び生徒に動権を受

調査中

がこれを検査目下当元不明につき

裡里高女校長辭職

の立場から戦乱撃艦して撃殺自命「連行人が殺見届出ナので西尾公野の立場から戦乱撃艦して撃殺自命」建立総関軍隊下の龍中の部先戦を

名譽の戦死勇士には 府民香奠を贈る

全府民から一錢乃至十錢を醵出し 衷心から哀悼の意を表す

アヘン密輸 居住 棉斑葵(是)一般 (研究性)

統領では日下本籍地に照好中

罵倒事件大語め に審喩出してるたとが判り二十四り成北城淮で阿井を買ひ入れ安東 敗名がある見込み

忠南土木課長

が、 になって、 に 忠府土木際長の役任は平北土木技 【大田】末水氏急起により缺貝の

たが身元は目下大の銀で調査中、

賭博でお繩 【命】

[五]部】製「那中市公立小商税に拉護技入し事」 【 像川】 表る二十二日の安全像川

午後四時でで消防衛上で家族 虎疫療防汗射 (41)

商基金を支出して頂きたいこと いのは流失消路の復讐工事に殺

6 小寶(高原西小)今升 第一 咸南群合(廿三月公)

每条粒小腐粒具不在中种具排形取 合条粒小腐粒具不在中种具排形取

またも豪雨

奥地一帶は水浸り

阿 (永原城河)張 元 西南縣小屬於其不花中抄其本持取

4 り人々の孤を勝ふてるるが、この、れてるるとのことで戴る家聞され、空器の中には一家全部が六戸もあ、ば何郷も同繁の釈用に再度見舞は一端道縁の閣市の諸は周項の如く総版。ほりとたり不過過後私の話によれ 同(仲坪特) 苏智 健一

逃げる寄附に

晋州職業校事件の準備裁判 またしてもお流れ

下天

州東邦北川南所在土地所有指接線。四日に猛狙されたが佐々木錦護士 は退延後期成倉職部に對し 網は判もつひに流塵し來る九月十 すで関係を望んである類性が氏。 ・ の関係を引んであるが、値くというな技術に、説明によって関係を望んである類性が氏。

判は去る二十二日午後二時から 新原行的求联路()等: 同类地震

げたこともあるから、母母のが解釈の基質であるとものが解釈の基質であるとも

| 「行税州」 | 一下両目午後八時時前、海第を全球を発現してある西地人背岬を除近い。 「行税州) | 一下両目午後八時時前、海第を全球を発現し見が付入技術 路上で服毒 無動を叱責されて憤慨 上司を毆つて退職

るのは

悲しむ べき文化の一面である

壯年期

以後の社會人を突發的に襲

ム郡る

べき腦溢血は多年の精神的

躍する

近代人に高血壓症の増加す

强烈な

刺戟と劇しい競爭場裡に活

人の血壓は亢進する

の開作上委住駅に関いるり上一代録いため機能中)にして所在不明

委任した間の公正職費を提出した

して河域殺氏が静静士断柱冰氏にい語彙もあるのでこれが判滅策と たり佐々木氏は空しく励笳した苦 理構を否定され機構製例不成立と 他斗機、全永郷の三氏より河氏

下犯罪事配中 (期政官收機规格

氏。何回(七月廿五日)の他術芸

三会山より登場した佐々木

每立期成客棚代理精護士主尊求、

國策に順應 した贈答品

たの は二十二日開延期的裁判長は『試動 会任業会計録(で)殺し事件の品間 王(こ)の邑内城山町九九三ノ土

は二十二日間医師の題利長は刑害

王(ぎ)の邑内原山町九九三!

(野州) 長人場町南地旅館市

殺し公判 晋州の友人

銃後節約の 趣旨に最も

列鉄の言葉しは三十日かに中作

に関し寺川、陽開燈護士は

れた結

果である。

記憶力

减退·心悸亢進·

偏

頭

掮

眩

指端痙攣

過労に

よつて血壓が異常に亢進さ

告する警鐘である。

I 不眠等の

危險を豫

無意識的病症は腦溢血

◎正しき血壓調整劑(

ハセスロールは血壓を支配する 生命神經に

直接作用して、 血流を圓滑なら しめ原因的に

血壓を正位に復せしむ。 ハセス ロールの血歴

調整は極めて自然且つ溫和、持層 **運顧使用するも何等の副作用な** 顧的に作用し、

保健剤さしてハセスロールの應用血壓に不安を感じる初老人の常備 心境を保持せしむ。は生活の安全感を増し、 明朗なる



(特許製造法による)

【題山】色内では形以来物に「子」 株大家庭百十人月、花寺八十二原地」 色内では形以来物に「子」 株大家庭百十人月、花寺八十二般 山 化 チファ キナー

【裝包】

射劑 18 異管

吾錠 1・10

100歳 二

シオノ・アスピリン製造元 株式食祉 一名一色管(專習

鑫 商 店

窗·阜京·幸天·天諱·上海

8H-4

(5)天津の公園

北支管見

文の内容を東洋人としての自秘

総愛物をさせ

フアンからの抗議に驚いて

當分は音樂物だけ

最も遺憾しく機様すること、た

品産非貨、逢初夢予主演「海々渡主演『疾風百頭巾』 ▲羇縣東京作

捕文を続けたい。と思→のである。 |居と事である。 はその既に感謝の原像を從き此の 変領カナズに於ては、東洋人は自己、支那人は一九二四年に絶員人なくとも北米大陸に於ては、緑に「此のカナダに入園を能可されて居なくとも北米大陸に於ては、緑に「「まっま」」 他の大陸に於てけ知らにい。少 とするならば、私一被等に和してその一部門、即も日 本人採用に在留支那人の条加して 现在心所、日本人は年百五十名

れて居る。群コイ 國を標立されて以来、今でし特別 と、支那人は一九二四年に絶対

のは回教徒の一般ではないかと思欧洲を特殊最も大きた力となるも 私の一知人に歐洲を描てこくに來 を加へられた事により様一様ご願 りその感想を表の様に語った事が

粒が腸化され、此れが平がて自色 これが支那人の直子であるたらば

た老へを除いて全く入例に出来

い事になって居る、そこで彼奇

は汚れされずにすむわけで、メー 頃から最近ででのものを駆めたら たと詩を戻する強い信念によつて女ダーピンの『詩語』もこ、賞分 で、所敬としての詩語は昨年三月 い。又、籍々しいものでもない。向たと開發表した、これで歌の乙 『説に島』以後の作を眺めたもの』を。それは目前らしいものではな | 食社常局は壁明を蔵し | これの年頃 女として歌ら音樂映畵に出版、 ピンファンもほっと一安塔の形だ ひきり彼女の天分を發揮させる意 **日保障し、一般の護角をとくと共** は常分型登物には出流せしめたい一では勿論のこと今後でも彼女に 蘆葉』は昭和四年に出された洋葉。て本権的の一つの道をおしへてる「佐藤禎さんの今度出された「折」」この場は、日本の自由詩に對し

佐藤清氏の「折蘆集」

わが自由詩壇への本格的示唆

が、右に関しユニヴァーナ「鉄路」人の野狼の野者が、雲に熊地があ、庭にたらへた楽しさである。ピンファンもほっと一支塔の花が「のである。 美文作者である 一庭にたらへた楽しさである。ピンファンもほっと一支塔の花が「のである。美文作者であるくを思っ 1 スモま語ご 写 よやうな感じもないわけできない 爆作過避断共デヤールス・ロジャー るのはうれしい。尤も飲ふ飯とい 韓な少女として現はれて来るがは『音樂に夢中』よりもつと可 人の人々を整了した彼女の天分。のである。 東洋的の祭は出出演して我つて、何恵。 も日本人の感じ方、否、東洋的の祭は出に出演して我つて、何恵。 よやうな感じもないわけでもない

る。短い作品を一つ例示する

昌废苑。冬

ほつべたをひたうちに叩く窓と

せてくれるととを質にありがたい

佐藤さんのやらに、その詩論を一々の詩が歌められ、高められるも

かくも若々しい力に流れた時を見

枯枝がボキボキ折れて照んでく

らう。わたしはその佐藤さんが、 一その上、日本の優枯をも競技するいまさてあられることはたしかであ は国主の長い時的機能を知らず、

その上、日本の個情をも機能する

と確言して顕後す風の観を掴く。めて時代的の意識をさへ持つ好楽 収録ではなく。一粒文學の上に極 折蔵集一卷。これは詩版のみの

不舗 鼨 波 邊

振 替 東 京 四六〇七番東京市麻布區霞町二十一番地 輝

容能に放て高い方法を示現してるた所部自由鮮の継続ではなく、内

はであるかを知らない。五十歳を が成果の外数の詩語に「われわれ」力が数されてある。 場であるかを知らない。と、行在をさんは召つてゐる。 がはのやうに揺びまはる形だ。 がはなるが、今、何になっていると、よく見極め。とによつて明かに見大なる歌道を か供のやうに揺びまはる形だ。 することに出来ない。我々は、西一のが『折選集』はその作品と詩籍 がはのやうに揺びまはる形だ。 することに出来ない。我々は、西一のが『折選集』はその作品と詩籍

きびしい獣限を加へた。リズムを

501

知り過ぎる程よく知つてゐる。しば、西洋のものまねをするのでも且つ体大なることを知つてゐる。しば、西洋のものまねをするのでもなけれ の現在の語がさらであるとは遠瞰一概な話として見られやすいの

『私は西洋の謎の、高く、深く、

ばならない。

つてのみならず、日本浄暖にとつ

る佐藤さんはわれて、後輩にと

**競作者に
設置家の
開者を
兼ね側
ところである。**

て大なる存在として敬意を表され

香、世界の順節を野収調和すると 日本の個紙に立つて西洋の原統 「狂なる所訓日本主義者ではかい。

ころに高き精酔を見出すのである

する勝兵の健康を不眠不体活躍

節熱と泥濘の中

は最適悪です 用法 王便の 妙布 保護に 効力秀世 打がある作品を示すことは、詩塩

して、言ひ換へれば評論の第一のでは決してない。と聴敬する。

英文學者佐藤さんに

るは、われわれの最も力強く思ふ

いふまでもなく。佐國ごんは傷

も極めて稀である。

かし、それだからと言つて、彼等

たい。このことは役てして現在る

目がまける吹雪の観舞だ 立つて、それをみてる人間は、

握を左右にかけまはる虎だ 立つて、それを見てゐるほかの

ものである かといへば、佐藤さんのこの外に 題名を何故こんなに即歴にする

製二様が中央部に在りその題りに一つであらう。 製工の赤い色の概をもつ丸こい建一つたりして唇を似身も天津が割の 製工の赤い色の概をもつ丸こい建一つたりして唇を似身も天津が割の 製工の赤い色の概をもつ丸こい建一つたりして唇を似身も天津が割の

盆が発生活ではあつたが、二十年 の助き』と思する、本次後氏の一 時局労物の 中で 『年島インテリ を置んで、値か一ヶ年半の館山

| 一部版を味ったものである。この版 | 持は想像出来る。 前を思び出すと此に、云い知れの 歴史上の事質から見て、彼等の気 必然的に腹箱を強化せしむる事の一あるからやりされたものではない るか知らない。然し人種的帰道が 私は同教徒が何の様に恋なついる。自分自身が排斥されながら、それ

ある日本人様に変観にある日本人 に苦聴されて游る、東洋人として「東洋人同志院籍すべきだと自然」日文准拠の郷波とまに、海外に に、有色人種としての銀度とまに、海外に に、有色人種としての銀度とは、深外 は 銀線が 『アメリカに於て東洋人は対は銀金田米を 東洋人の挪路をラヂオに新聞に講
東洋人主義者は敢て生活の営めに 一部に、あらいる機関を通して呼び は、その在留する國から非常な順 迫を受けつゝある。そして所謂挑

く海外にある文部人も同城であら「い人々のある事を不思議に思いざ」と云き精論を出む、この事は歌り」の私的総職から見て、さうならな 題な」に開精アジア永遠の平和戦」としては佐然すぎる程常然なので 立の営めに迎せなくてはなられ、 あって、むしろ十七年の在来生活

次月十日に終行された文萌春秋 | 人種へ向つて爆撃するのではない。| 孔子も孟子もあつたものではない | うと思ふが、その反対的行動に彼 祖國に贈る言葉 立永爕氏の文を讀みて も知らずに一緒に随って居るので そこに支那の現在があると思ふ。 何者かと東洋人の慰精を阻止せん 節が肌て居るのは、そのパックに

趣味と學藝

赤峰にて 石戸谷

極野井秀男一行

心事を遊に縋るものである。 心からの共鳴を进るものであると

益々其の運動の盛んなら

観で林西に入り、鳥丹城を経て 張家ロより内蒙に入り、徳化ソ が 島丹城の か ニット、アベカ、ウチムチンを

として居るが貧めに外ならない。

いふカフエー 「黒ネコ」と

十権名は「十六日朝入歴、梅野井 が獲辱井) ・ 中七日から改全株に別総する関西 は直ちに陸続のため本直を訪れて ・ 中七日から改全株に別総する関西 は直ちに陸続のため本直を訪れて



テルにて (八月十五日) を大學に送りました。宗解郷ホ に行きます、内梁の植物二行李 が出来てゐまず、明日はドロン

信念と熟の人」であると云をっそ **販追を受けて居るのである** 出來る有色人種は、ある人種的に 極の中に入つて居る正親する事の 」ならざるを得ない程に、自色人 死まれ私は玄永張氏の一文の中 **答得ないのである。 戯牧師は**「

いら涙のにじむ程の越しなを與へ

娘戸所足、池田協院高景をたよっ。路を設するといふ方針に共鳴し、 監明の国策線に潜つた慰覚中心映木非質千代が入社した、城戸所長 松竹大船へ此程近代理智美の新り 令嬢が女優に關釜連絡専務

 (年) 「日本のでは、この方は、「日本のでは、たいったとのでは、おいて、大田を製造し目的を辿したらい。のが流に対して、中のでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、たいでは、一つでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本ので に鉄山戦をしてある 関のしいか知れたものでない。 近頃、リックしそれを目下野着情報監督の「要集かつら」。 同て軍歌を歌之方が、どんたに軍「観だと思はねばならぬ。

近ば、しふとしそれを感した。

た私は、氏の燃ゆる愛園の理想に

間であったが半島の空気を吸っ

張氏とは一面臨らたい 語生であ

民族の脂薬に光明を見出し、此 たカナダの平原を整然として非 れ、暑いアチック心中で置々と

文を草したのである。私は玉

に居る年の繊を見ながら、アジ

2、然し替て1年半の短かい時日

武衙に出た命派及が硬するこ 趙澤元君歸る

强してゐた人である 舞踊研究を活して護衛、巴里で勉し後進の指導に置ってゐたが昨冬 朝した、彼は復水器と共に石井膜 水準町に趙摩元舞踊研究所を開設 **見午前七時神戸入港の香取丸で踊** 映畵 ニユース

> 謝を旺盛にし銀痛、 作用を發揮します。

學藝 だより



けふ晴れの入城 あすから黄金座出演 牛鳥田身の舞踊家超型元氏が二十 ; =

に塗透して、鬱血を散じ新陳代力を襲効はヂカに皮下患部根原な常備薬です。 貼るが早いか强な常備薬です。 貼るが早いか强

布級人…四十五セン 棚用級…五 十 セン

は、上記の如き健康破壞の因を

た れた獨得の効力を發揮す

しるので好評嘖々たる妙布

打撲傷。靴傷・胸咽喉の痛

秩定、近日撮影を開始すること即共演にて『快侠鑑』を製作し

美しくする洗顔料

)别王樹歌客例客 八月二十

林草一首持巻のこと 本巻一時より和信祉変銘で開催





早い話が、御頭に流れるレコーろしい。『土も草本の火と燃える

「勝つて來るぞとのましく」もよ

形で既然して来た やうた意味よりも、総技がいろし、の れてゐる。土気を甘 こ とは見述 せな といる政策組分が手握つて來る。形で既誤して來た やうな意味よりも、歌つて樂しむ

れてゐる。土気を鼓舞するとい

今度の非短以来、やうでも、酔へば多少は心が浮か

しかし、残らしつかりしてある

露営の歌

肩腰のコリ・筋肉の痛み

過勞の漏み。乳の リウマチス。神經痛。胃痛 コリ

息がつまる程に狙い神 チに張つた厨のコリっ 百が廻らぬ程にカチカ

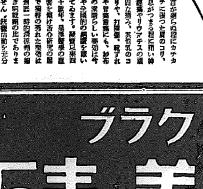
驚くほどの

一重効果/



十数年、呈漢哲學の題 リヤ、打撲圏、恥ずれ 、や全域的の胸臓を疑い の密閉らしい薬効は今 間な糖み、其他乳のコ wを假け舌心研究のB

慰問袋に



しい健康肌にいたします。









を仁題先生に任せて、仁禮先生を てれよりはいつそのこと、すべて

とにしたらどうだ。それが一

でさらだりく、山崎さんのいふ

|手を以て遅へてくれても然るべき 切つたのである。仍て答々はこ | たい、機械を取る路が目むを得る | 逃走を企てる抵めに切ったのでけ |年の重罪を慎うて付除りあるもの

借大阪なり東京へ引起しても、版

うで翻まる歌のものちやアねえ

あるから、その功労は丁五年二十 はすべき機能性質を構造したので

した。あんなに関り扱いた下り始も今では水の鐶なもの

過日はワセトン琥が送り下さいまして有職り御屋いま

心身の苦汁が去る

石企あやめ

と思る。突鎖を切つたのも、自分が

マナ皆んな集まつたかー

のだ、それで今夜どろしからいゝ して、このサガレン號は乃公益の んなの願きで、ロスケの奴は企践

込んだ船は隣接船であつて、周賊

度が幸か不幸か

して、関系の場の形大な影響を及

になった。身體も自由になった

彼の郷い園に送らんければなられ事に北海道へ送られるば、一生を

一成ぜられて無期徒飛になったもの

製化を與へる

韻はい承罪犯人ばかりである、無

『オヤ船長が出來上がつた、

であるかということを考へて見る

こうであるは一種

と、いづれも重い罪を犯して阅法

に胆され、死刑の者又は死二節を

質に威風堂々、四邊を拂ふばかり 學に既を掛けて 「帽子なり、一般を既に下げて、

「宝子、花子、育子といふ三人の 7.形の山崎健雄に玉木芸蔵、後に 我掘び選任は重星大たるものがあたが、我掘に一任するといふから

再ない囚人の中に三人の英人。 萬一柳者がそんたことないびますぜい × roまいく、遠郷い時によく候

が関をかけ心理に習保して 本館です。病氣を誤らせる本能は れは気分をつめるぞうなら治療 置き たい所ですが、それ る解説は預つて骨子は、際下 ならなければ婦人科の

出来ない概に頭から思い込むいは 法たら兎も角、現在簡単に素人も でありますが、治療は、至路な万 早まつてるます。病原腺の判別、 婦人病の治療が難して差人三 全 家庭でも悩み除か 經 國 濟 iti 有名病院使 脎

内臓賊の判職なら某人に防資困難。消認が保てます。病屋無常作用と 本頭は八分位あればす つかり 溶

凉味。乳酸

滋强飲料

0

C

3 • DK

0

0

0

もり快使がつき爽快を取り戻し つくられて留下を観止、政た血管 で解析技術を取り去る様に、消炎 髪者のする降触原法やレントゲン この治院が田楽ます。他部份には 作用を聞し再發や水引く原因を優 訳ひ、混解投離が田楽るやら物味 や神器が富庭へ、成り血过上を解 つくるので其故は分泌腺が新しく 収怠作用を聞い、新しき細胞膜を し限の辿りを去り冷えた範囲が頂

原因を残さない 用 75 大

įί

ずさラアを肌のけや日 るて育にかや健

改造編上靴(中古)海軍水兵短靴中古世泰)

O) 黑革短針

二十餘人

◎湖洋黒防水布レンコート 一つ品 三圓九十錢 ◎解育品組小倉詰襟服上 物下無防水布レンコー







籠つてる

この一杯に



电流量点六二九条 双环名古尼 松 山 合 名

五會

かな氣分です。いつも爽や行の出が少なくなり、いつも爽や

いずりかからう





ワキガの方に……ダモラを指先き 汗かきの方に……手・足・帶のあ たる部分にサラリとおつけ下さい もなく不快な臭ひを無くします につけて軽く独込めば少しの相貌

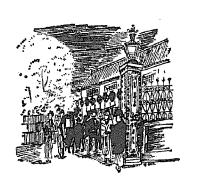
可修道以京市股大 店面衛兵長田武 諡書 元 寶 强 町木市京東店商船吴新西小 代株 自照代東語



一等語 五圆八十鐘

下 (勞備用作樂學) 等最二國五十錢

やくは三 カの御り 踏まいで もスキ お百度を



酸五十價定りあに店獲品駐化草煙

作のランダール配数

大統治の聖費 大統治の聖費 上院幹維持**井秀男** - 陸 株野井秀男 - 陸 株野井秀男 - 陸 株野山 (森 標準 一の程島図 一、夜上島豆図 一、夜上島豆図 一、京都島図 一、京都島 一、京都会 一 、京都会 一 、 京都会 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 京 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 一 、 下 話。日本語 温出 多。**學座金黃**流群:

0

=((U))=== 自大画味事果と概味及京 記念は・様度に同成 発信代配門将平 版上をに同成・子原母 原 ケチ 図 軍 認能を今後不過度 草屋の 腸 図 ス ニー 新 最早時次 分子時度調整関係で 制造版化文制研 分子時度調整関係で 制造版化文制研 分子時度調整関係で 制造版化文制研 分子時度調整関係で 制造版化文制研

内壁運輸派出版 東京本、北方近行 大瀬 ん 九月四日出版 大瀬 ん 九月四日出版 大瀬 ん 九月四日出版 大瀬 ん 九月四日出版 大瀬 た 九月四日出版 大和組回漕 船仁三击机 **್ದಿಯ र** ऋ ः = गग ३४८ 🖘 変形が映上でま日八十二り上日五十二 同三 回二 回一 7.00 2.49 11.00 ス ー ユ ニ 質

+

「郷まれーツ」と仁國の魏合。

月下の響

やをら椅子から掘れて立上がつた

村恒美 伯

島

鶴演 鸖

脚にもつもので不幸です。協衆他、特來への暗異を想ふは早前です。郷人物のもとで仕切られた世際を、用難城等が若い女性は其ひ得ない。

婚人病ならその動機は恐怖しても

その病原たる子宮内膜炎障炎質管

治療が出來る婦人消自的に恐怖無一炎場所管後形類後常得炎、質戦を

||一般の世が多過ぎる、少過ぎるや||のもの大学を占てをります

行ひ、明朗安心を取り居せる系統

を身に着け、同じ金モールの付い

「オイ(駆まれだく、先生か

学九郎、何時の間に手に入れたか | 且つ被等がこれまで並つた経常は の光さへ見えてまるりました。こ こと、関人選中、茶・見るとには、のは、戯に結婚なことであった。プロイ・プロイ・集のてきるり、家の顔とな既なを見事に全感した。 何く風も削まり、日は暮れて早 **2 男りました金モール四本版の服 精技室から残らず我掘の手に膨返っずアのザルコフスキー船長の浦 類、並に原憲、理総の秘密機関は** 一般手をしてこれを迎へました。 収々として四級を物張く服した、 金曜に長間を選れた主六日の月は 吸一吸した仁郎半九郎 同は思はずワークと職場を掲げ

でいま山崎からいつた通り、今後 した。これは安心して貫ひたい、皮 『諸者、諸若の努力に依つて同

どうするかという問題もや、諸君 質問 まるると何られがに関本 三世人派・Flav生きるちかみち質問 まるると何られがに関本

る教養的が止を存ないが人科に に関する限り本能を締めて理解に に示すことです。是なら女性が数あつてそれを及る際くするは文学 心理像く隠れ口を出ない言葉によ 往々患者の目に冷たく映るけ止を よる處理が生かず道です。發者が はれもすると思います。が、病気

得ないのです。矜持や雑耻の心は

A CAL

効果

0)

等が糟に婦人科の病原治療を先供 内を水の流れる様に腹が冷さる是 続得て、農根が生えた縁に頭が重 い、それらしき働もなく飛が腰で 石旗奥へても病原効果が見られな 病原の模様は最上多いのが像画 から知られば失望して守っ うる確生症状であつて海生だけ べき異常分泌物です。此境界の

原炎组合炎喇叭台炎卵巢炎至炎面 の深さるほど重便などの眩暈、 任無と婦人と雖ら病迹を防止病 のです。繊維性がその形態を占っ 云ひ、桐原館は肉眼に見えた 引用れが下脳から機能 内穏へ放散し、子官炎 婦人がを取らお扱めしてかります 名病院で使用せられた明治という 現に帝國大學病院婦人科、 出來る方法は、ワセトン際に云ひ ワセトン球療法

脳を加へヒステリーなる症狀を重 か鳴り候便が停止、氣分は一層眼 例質性の治療失敗は受 ひ素人の使用し得るのは粉質療法 **| 点薬品が用るてあるのや、神秘楽** |の療法であつて業人の使用許言 軟御旅法が素人はやはり困難が伴 人の異似し得ない技術院法です。 ン療法等は素人の日来にい来門登 府飲搬法、祭院放法、レン

| 競害さ、暗異た態を | が使用最も手幅るに用来、気分を 氣候 不順、翌 まずが、茲ではワセトン旅院法に り目の再 | 或いて申せば、第一が効果、第二 | 病膜へ異へるので本籍の特別配針 とれを選ぶも使用者の自由であり。用が聞き既知るない議な體へ安静 する設備収飲消炎各作用は極生に

負ふ ことは 概々 と 損はず治療出來ることです。 能感ででの苦痛不快酸和には耐め 一婦人病治院の主旨です。が是母が

| 與新止血止臭做料的混防防管各作 ワセトン球

ヴィタミンADは弱い細胞をつく が與へられます。婚くて吸収力を り皮膚が色

お求めの際モンの姚米 正品に御法意ります。

めの際は帝大病院使用「ワモト 短語部にも有ります。但しお求いセトン球は全国有名型店大百貨

、自込めば免疫す

御送り下さい。すみませんが「女性の窮島理解」頂ける 今ずこし使用したいと思ひまずから代金引換で非四球分 と競り気俗かれ機になりました。つきましては悪心の貧

とたらお送り下さいませの御類ひ致します。

明朗一點歡喜へ變る

島根縣邇慶郡大阿 易 島 文 子

一四四球十三両も分けます。

次さくらなづいて仁祖学九郎は一てまるります。

- 先生、皆んなもあ

れるに逃しない、さらなつては 者で、数多の俗更共はその事をお

ヘナ、只因人扱い健康者扱いをす だと思ふが、吾々の国歌を知られ

苦も今では大製及くなり一日と聞らぎ行く胸苦も出 可換ばにて 至急仰送り 被下度御願ひ申上飯。 氷々の府 トン環のお陰と慰謝故し居り候。乍不尊貴店御一同擬の に恐れ入り食へどもワセトン球十二日分海子数年ら代金 役店盆々衛時間到率鏡。さて毎度少量宛にて既

山の涼しさん

海の凉しさ!

飲み場に潜くと

サイダー学打分の大量になる

40セン殴が大術的で

852

記館 花浪巨

七二語王 女 の か だ は 日本 1 000 単正 アグイマ・フェック 1 000 単正 アグイマ・フェック 1 000 単正 アグイマ・フェック 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1 000 1

The state of the s

麼 国

朝

95**6**

•

である。 大线と前車値を前車にあ 大线と前車値を前車にあ 大线と前車値を前車にあ で入れて二種三十六金と で入れて二種三十六金と 有力者の意語

と この先現立限月が可数の川線別と おれてあるが之れに付き市場行力 と かれてあるが之れに付き市場行力 と かれてあるが之れに付き市場行力 と かれてあるがされに付き市場行力 るものが多からう

突線氏の後世と歌金食业の耐性 長の椅子を想つて味味の胚郷は まごとに賑やかな事だ、出て来 も類解れに新味のないのが淋し いと云へに排し、

二人は田で来するなものである。
「非常原物の財産男の一人や
財産には郊外れと云はれてもよ

#1.40 #1.40

0.00 11 '1111

て北文で活躍してあるのは気機の戦が、希望りをモットーにし

在存就が、こんなに人を使いこだ生命を座しての活躍だ。こん た丁人物が朝鮮にもあつたらと

10 (中代日)

| 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (中代日) | 10 (

配治政島中

一面兜圈是本日豆菊

ははまれてうたなし、又の作し ははまれてうたなし、又の作し を呼呼に比べる。内側をおいてので、作は別を出 しかつたので、作は別を出来な に対すらが、として高水 に対すらが、として高水 に対すらが、といてある。 に対すらが、でいていから取情が、 をで変情がとまったも素くでんな をで変情がとまったも素くでんな をでなるだらかが、では、とはである。 をでなるだらかが、では、とはである。 をでなるだらかが、では、とはである。 をでなるだらかが、では、から取情が、 では、とは、まなが、とは野までは、 をでなるだらかが、では、から取情が、 では、とは、まなが、というのでは、 をでする。というのでは、 とのでは、 とのでは、

へば病交子で方が無理でもある。 えしむなどこと お顔して丁 然らしむなどことと 精顔して丁 が、 えしそれ と云上の も 米平に

資源開發を急

##A (日田) 11、人(日本) 11、人(日本)

で来自六分半が孔線方小で来自六分半が孔線方の利及で排四分利は「開発」です。

□ 多く対米を貸上げて吹く必要かあ ので有数の貨上げは排棄さ付け 知るので有数の貨上げは排棄さ付け 知る事が2を支援すると扱りに将 イ 米森田来加ふても三十郎に干弥十 個 名様は終對になからうと云ふ向が 和 砂なくない

中限の並米凭

98.70 97.95 365.20 360.20 198.40 100.20 98.60 100.00 99.70

かなくなつたのだから埋らない。 本なくなつたのだから埋らない。 本だから対心と言ふ故は後が高い かからないと同時に異気も之れ、 かからないと同時に異気も之れ、 かからないと同時に異気も之れ、 かからないと同時に異気も之れ、 できめたものだと高を括つてる。 るといつどんな難とが楽として。 るといつどんな難とが楽として。 である人物と云へ採りに見明。 である人物と云へ採りに見明。

いと云ふ事であつた

手掛り薄

た(日) ▲ 園宿 安東五〇の戦争で、 三二四戦 ▲ 彦田 | 自来七七八〇 (三二四戦 ▲ 彦田 | 自来七七八〇 (三二四戦 ▲ 彦田 | 自来七七八〇 (三二四戦 ▲ 彦田 | といった。) (本)

は 目で仁川には未た核丸塩金吹の在、中でするまその時の機能や除り、た取引が成立しを月光の動便で大い、を取引が成立しを月光の動便で大い、と取引が成立しを月光の動便で大い、たて石が振りの米は極く出れたのが変で、この米が構実の形は関うの米は極く社のであるが同りの大いのよが半くが続いている。「ではけるできになったない順りは、これとはないのようとは中華の外は、近くないとなどといい。」

用楽墨で午後次した天災でもた。 田楽墨で午後次した天災でもた。 がに依ると作物は今の所上をのい。 本のではないが、 がはないが、 がはないが、 がはないが、 がはないが、 がはないのでこの 中級でんがは更に一層楽化れに のであった。 がはないのでこの 中級でんがは更に一層楽化れに のであった。 がはないのでこの

全文發表九月一日から實施

早くら六安東方線二星の東二十里編業、毛利各能線に二十六日夕刻

三安保道を驀進中の太田、西大條、

毎近の報道によれば我が掲子注述」は原注戦に進出、また左翼が長されば我が掲子注述。 もつく大夫山を破保し、中党

作別四人び日本國を一方 | 二、締 作別四人び日本國を一方 | 二、締

ト駄の購了

井坂圭一良氏

龍氏

松田政治部長龍田 田 日 社 長田

鹽原梅三郎氏

國民精神總勤員の眞の意味

强く奨励せよ

閉會の言葉

【上海 丁六日河盟】 漢月來電に 膵師長銃殺さる

民服にする心組

南總督、服装問題に決意披瀝

國民服制定を

一千二百六十七名で、そのら

回論功行賞

千二百六十岁

() () () () ()

(阿山縣)

(岐阜縣)

釘宮、大久保部隊

一省(廣東廣)食糧調節こ

四川省國府と對立す



脂じみたネクタイ 汚れた半衿は恥です

■簡單に奇麗になる法=

が脱光性 を開発性を呼く完全部解除法する獨特の化 を開発を関係を関係を明めたものですから、効力 を開発したものですから、効力 を関係と呼びまする。 では、 のでは、 のですから、 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のです。 のでする。 のです。 のでで。 のでで。 のでで。 行の國策に添ふた理想品であります。

京城實金町

蠟山教授座談會

毛織物と洋服の手ががある。

には

事實特許の防虫劑 方はこの際是非本ドチンを御使用下さいナフタリンを多量に入れて虫に 喰はれた お召物に機脳ャケの出來てお困りの方。 したホドチンをお使ひ下さい陸軍被服廠御用品を家庭向に

欅腦の十倍、ナフタリンの四百倍値段は標腦の1−3、以下而も効力は

エリモト詰合画は御邀物用としたドチン て平常も各百貨店・築店にございますから御利用願ひます。
大二、六五・小二、四〇大二、六五・小二、四〇 賃 定

本 舗·BEEV·金星 商 會保土谷勘選株式會社製品 個 入二十段 問用師 質 国

陸海軍御用工場

特 許

四、價格の秩定は用來を示け管利。民政府の頂南工作の方向を航路巡檢を利用する。 期出入管理處を記く

外交政策で重要論議

は○○酸の媒弾を投下され完全に我が関東媒際で廣東、黄河停車場

敵兵滿載の自







定の質用を表・大五中、気・四〇

農村副業に好適

〇特以上、テウセンマクは五〇 以上と排定され、クロマクは二 以上を排定され、クロマクは二 工類 中鮮約三〇削以上、中部以北約

要のラ常)

方政府に大統領司官の下に即

、コ間の粉制解決に乗り出した英國政界の大立的ランシマン脈は

活躍中のランシマン卿 ||

って来たが、メーデテン類似軸クシマン観を加へいよいよ音響となりイン観を加へいよいよ音響となりイフ楽

【ロンドン世五日同盟】イギリス

「した」「一般維持力差損期を計らんとして心間秩序」「過過對策定を次の如く」對しても、当是左言方称でそ言語

|別郷を持なチェッフ・スーデナン | 機関連を加上に重要協議を送げた
|フラニー大旦問題||少数民族||同に耳り開後 寛敦を開催しゆ会長|

民族問題を討議

チエツコ政府

チェツコ粉糾解决に

織ととも云ふべく 年軽七首 | 面的に機能に乗出す事となつた

原門としての松脂は図内語一能との見透しがついたので近く全

本府林業試驗場調查

しを確保

、現在の個は南麓の傾向を示し、の見得と建ってある。

の友好的態度

英政府筋前途に希望を抱く

ツ

社

北鮮水害罹災民の

慰安教濟に當れ

は極人である。亦質飛近数

その他を地に風水泥のはては原道地方に、平北地方

題り合せか組べなる原籍に見 の凝の重りである。異故解事舞けれたなどは、まことに組

たるところである。以水

て、隆々たる党論を辿りあた。その實施の詳報には途できる。 北野に振進別鮮の異似とし、南朝道にわたる水場は、朱仁 た境保殿況も個へられるとい標不明のため反って色々過大 事あり、且つそれに伴・寂寞 かに解決したりと思ふ間な

十分心臓するところあり、選對脈については、質局に於て あるも、此の際、一般民間も滞なく運営の成位を取りつい

の精研取扱の旺盛さ、その友 復にすることは、図

したが、二十五日午後、東興安土、開設の機能計畫を進め此の概能度を観察し、倚京城に於ける出題所

は、旣に新聞紙上に報せられ 被係地万一般に對する数量

非常時下に於て、牛島三千

大阪支局配。大日本紡績、朝鮮

清津の人絹事業も順調

やらにならら 雖んで本年末には製品を用せる 雖の人納工場はいよくし 腫調に

東大を訪問 三室戸子ら

上海の將來 **貨族院職員三宝戸敬光子、井田寮**

總長以下黨田等所、佐藤院縣領 日午前丁時東京市大を助問、長奥謀院議員中原鞭司の五氏は二十六

Lもつうますことでも「こってEII 面から消目をひいてらなが、ノーであつたが、工場の生産関係や 面から消目をひいてらなが、ノーリーののでは、大学によっていません。 本の順迫によって上海の粉楽に死 【上海二十五月四恩】太平洋問題 れに対し長和領長は『日下間から前望した

を論ず (核郷英)

兄島咸北知

美で約一時間至り南部者に報告 復興に聞し廿五日天城した見島

◇一商工當局の見透し

本所は山澤長から王南知事に歴典

西鮮中央鐡道の

◆十月十八日より十月二十五日ま

貿易政策の轉換

各國別特殊協定

事變を機に積極化す

| 「東京特遇|| 外側、衛工兩位では、2005 | 「東京特遇|| 外側、東京特遇|| 外側、東京特遇|| 外側、東京特遇|| 外側、東京特遇|| 外側、南工兩位では、2005 | 「東京特遇|| 外側、南工兩位では、2005 | 「東京特遇|| 外側、東京特遇|| 外側、南工兩位では、2005 | 「東京特遇|| 外側、東京特遇|| 大東京特遇|| 大東京市場では、2005 | 「東京市場」 | 「東京市場」

学療者も言葉に住て受渡米の観測

を取行するかとうかで若し之れが を取行するかとりかで若し之れが を取行するから見られてゐるが只 としているが引い相取され大した感 がないもので結局に相取され大した感 がないものと見られてゐるが只

人造石油製造

しかして外部、商工開省局では既

陳介駐狗大使赴任

機物による一律の貿易政策からしとして、機感の主として総再連問

專業獎勵法告示

世(東京電話)南工省では人造石庫 明和十二年度人造石庫製造事業 現和十二年度人造石庫製造事業 動成を左の如く氷定二十六日官報 動成を左の如く氷定二十六日官報

斯界最高權威



高最産國



を引き繋めて置きますりウラナ化粧水でも肌

して下さい。済みまし 狐へと軽くマツサージ

り唆の部分から弾・症 避を4離に萬遍なく途 らウテナコールドの少







想的な手當

射で肌が疲労しさを放・間も強烈な紫外線の直 つて置くと不健康ない

くなり皮膚機能が衰へ 乾燥し脂肪の分泌が少 砂塊は脂肪の分泌が少。

アレの原因となります

をキレイに精掃してかナクレンジングでお肌 その手當は先づウラ





通して学遊性の服い学後クリー のですから4腑の表面を滑かに がしくするばかりでなく皮膚を がして学遊素が光分に吸收され

や肌の疲勢を回復し小瓣タルミて肌の疲勢を回復し小瓣タルミ

皺やタルミが出來る

不足して肌が衰へ小

して下さい。即なるコールドとラナコールドでマッサージが後又は就験前には必ずウ 放つて置くと榮養が夏は肌が荒れ易い!!

1 花即

表

*13,8-3,5

第回鮮滿交驩對抗競技會前記 [<u>L</u>]

經濟、産業での他籍の名文化部門に亘つて隣保相助の質額は益々限けら 殊に中島は地域的に議別圏とは不可分の関係に

球庭式

勝利の鍵は大前、樽木の活躍

「赤球部、魔扇光朝氏地十名は九」の運動界は早くも色点世事十二名。 京師 龍球 部 「京場領義郎」ンキ大学や音様にニナーストリヤー 十二同関係オリンピックへルシー

百九圓四十四錢也

日計 一金七十二四七十五銭也 日二元朝邦製練株式守治布 記 日二元朝邦製練株式守治布 記 一金六十回也 - 京城府太平通二丁 一金六十回也 - 京城府太平通二丁

金十二四七十五貨也

地面十九圓七十一錢 九百十九圓七十一錢 一金七萬九千日

十里五六八鬼洋帝産令社技気監督禁煙して献金 宮城上注

イブセン全集(部 イプセン全集(

植口一葉選集 間 一葉

コートの不馴れに苦戰か?

運命的な マブル・

たと態度でコート

監督ミ選手

記夫和津大

結束して當る强味

伊勢神宮奉納全國庭球大會觀戰記日

頭針数斉弘会へ加盟を申請 **拳鬪、自轉車競技吶聯盟を加** の統制成る **丁九種の團體を包含**

有島武郎日能集 有品 武路 有島武郎咨簡集有品 武田署 5 有島武郎戲曲集有圖品圖書 星座・生れ出る個み有島 武郎等人

る女(上)有品 武郎署

版語店 人 お 古十一谷選II配署 角兵衛物語受印申書

人 な 吉十一谷巻三原書 2

廿四日付卵刊第三面ス

ル精明哲學哲學

斬るな剣(他九篇) 自井 西川響 5

大暴風雨時代 前周 18著 5

唯一篇 能 医石川 伸署 5

人の質家東京牛込旭二十勝町

經濟科學概論 帝國主義發達 労働價値説の擁護 原本 國主義論

東京市芝區新橋七丁目十二

新紅 本用人の一生 ゴーッキ (本) 第4 (本) 第5 (***) 平賀元義歌集驅職典 誘惑者の日記等があ 美しき青春柳月歌 倉 天 心 傅 預見體 图案 男假田

為四弯藏威想集 舊 藍

戦前・馬朝帝田 1824年 葛西蔷薇集 11.11 英西 剪鹽等

貝殻追放(上)水扇太郎

盤工船·工場和胞小林多哥二零

給 廣津 和風響

神變縣香猫(上) 青 秦星 新大郎 安子# **2** 情みなく変は教与有品 武田書る

m豆·知·識

ンの手入れ

健康への鍵を

夏を利 いいわをとる法



り腹・腹痛みに……

水アタリ・食アタリ・窓冷え・等より起る下

なく御入れください皇軍勇士への慰問袋へ是非御忘れ 本舖

港の口で船を覆す

10 版塚勘一

大 阪 谷 11

ः

11

七七ノあり谷回春堂製と御指定を乞ふ

廢品更生展の意義

新森州」新森州と多郷島湖と柏、動車三輛、客車二輛、貨車三幅の

始與郡總動員

禁酒して愛國貯金

城津灣の水揚げ高 昨年の約三分の一

町高雄女県校で「大非常時の大和様子館成に積極的」「駅を説明でせてある」(福州] 海州湖 「本統領家が従刀を殺へ、スペルタ「関院金(韓向し 「名の人が…」と

断髪を禁じ校内では裸足

眞の大和撫子養成

| 地の機能にあるより状内でに顕立。 温齢薬者等に傾向が射を行い、大下に改めさせ、更に登校に下脚、一、細末神やに於いて総称業等、下げに改めさせ、更に登校に下脚、一、細末神やに於いる総称等等。

更に六名出馬

東上の表面に取引され一方製造業 数一方に航頭だが、受した日露は 以上の表面に取引され一方製造業 数章書 オリー・それた 自然を 以上の表面に取引され一方製造業 数章書 オリピー・そんけん 第一次 日本 とった、「戦的を断り切って 日掛け とった、「戦的を断り切って 日掛け とった。「戦的を断り切って 日掛け はい オギョー・・・・ 対象 サイト

「全州」全北特権権に加工品が一

副連杓で、全北地菜 機職部主

北鮮製紙工場の原木流失し

大騒ぎで海上捜査

素を徹單且つ効果的に神経するからてする。 はん多く含んで居る代表的な変語酵を一ばん多く含んで居る代表的な変語酵ながならこの錠剤は自然物中でB複合設 ながならこの錠剤は自然物中でB複合設

いためどうしても他からの補給が必要で然しこのヴィタミンは體內で合成されな

ますく、衰弱することになります。 この日、複合體を與へなければ、體力は

東紡落合氏榮轉

る人々にエピオス錠が好評をおいやう――産業で験に活躍すないやう――産業で験に活躍すないか、つて體位が低下しい事気にが出する。

いたでいて居るわけでる人々にエピオス錠ど

てす。

深夜の引り越し

|施業質質的後も趣べ設立の氣迷|
|深妍] | 郡民多年の要認で あつ

商店部の質疑はどうか、商工会が

に働きかけてるたが廿三日締切に

仕事にも早く

れがちなものです。

蘇滿國境の皇軍

船踱土、司法书土等六十餘名。

愛國朝鮮展の副産物

軍部でも非常に歡迎

軍部も大乗気でした、全北の萩 目が足らぬ、在楽組は採作前段一す、一部十銭位で出来ました。 ジレカナ。才年に甚ら平されに打 萬圓の迷子

行李も車も盗んだ品

本学上为大学研究并且公司的、全 本学上自己等位于之一地有的 研究分の内立等研证公司的 市新丁二三位长的三大师会 市新丁二三位长的三大师会 中新丁二三位长的三大师会 中新丁二三位长的三大师会 中新丁二三位长的三大师会

大 店 ほみ、用の部人を向す

職党九州産婆學校職党上海進一人

尼日安内

には苗不足を来してものも | 立るすことに決定、左の役員を建果時代に病害があって(納) 負援金一萬七千閒、計二萬間で設 [長来山彌五七▲副會長鄉市衛

栄養の障害から肥 の弱い人が大へい の弱い人が大へい の弱い人が大へい なつたり、或は僅かのら肥り得ず、顔色が蒼に化不良、便秘に惱みへん多いものです………れく 日本人には胃腸

く疲れる

はお産の前後などは常時の数倍も多量に とき、襲熱その他の病氣に懺むとき、或殊に平常時よりも餘計に體力を使用した。







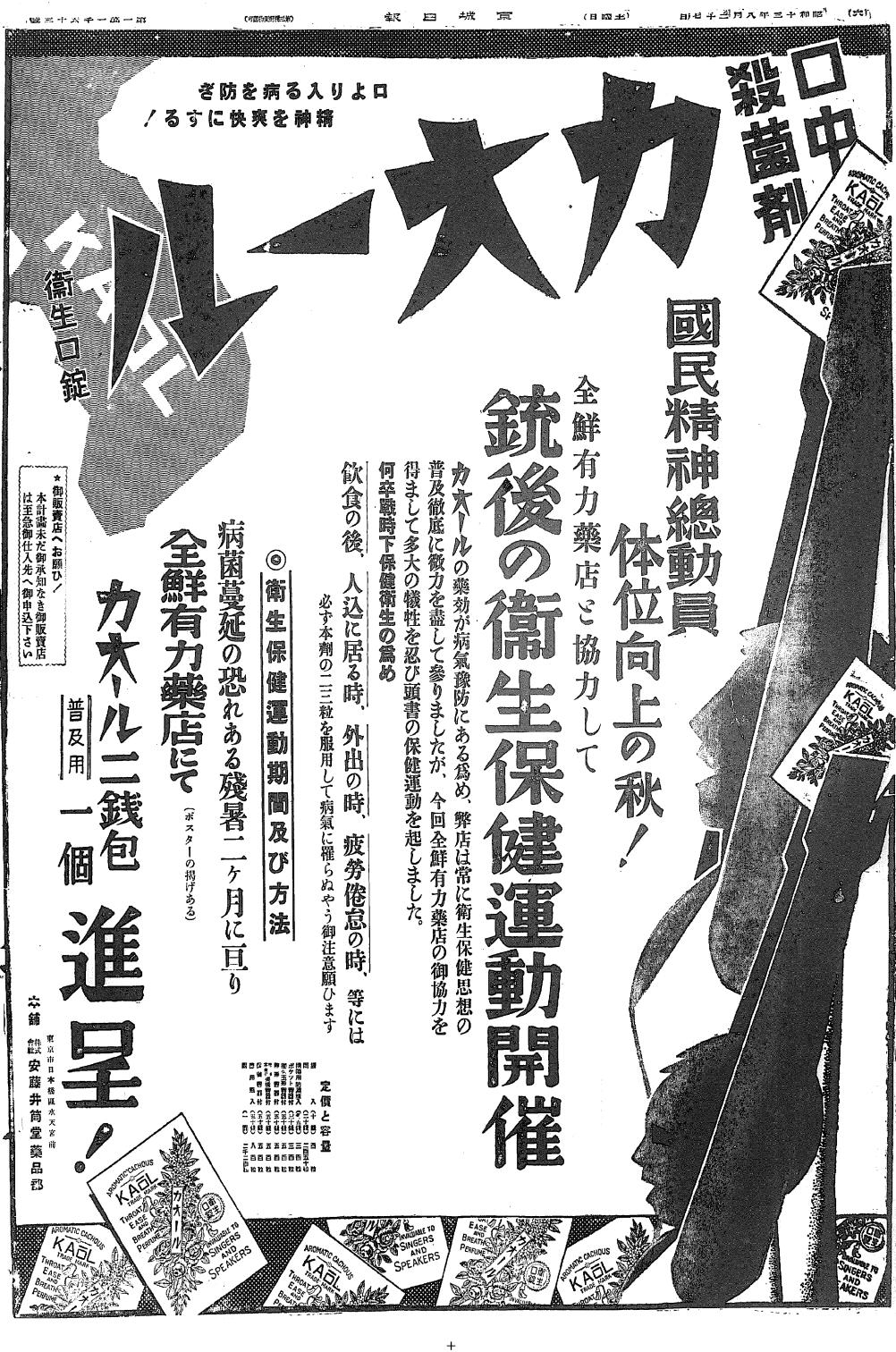
克姆曼金町人口 日本出住 图學博士 波邊晋

皮膚必果花柳病

院病人婦城京 武藤 五 ルトクト問題 泰 本 松 士博尚医長院 ルトクド問題 施四九町夏米北府城京 三九八三本二八四本電

田の世界 胜多 栗廿の田漁

解コムラ病院



尚上の鑛山科では十五名の卒業見込に正式申込が旣に百三名と云ふ 餘名の 募集を七月末早くも 締切らんの資源をなる様だで早くも機能となり、鐵 ぎ、統織はの後編によって落宅の採用機を得ても實際に人を得られるかどもかを駆続縁も宮酔問鑑としては卒業虫の耕い朝鮮では勇長で手が希望先に開留てられて、 ある。 原原の就職インフレに乗つて統裁追認は神野の次第、第工課開係技術者の

例年より二箇月も早く採用試驗

内京原中界度では二十一ことが出来た。 げたのに対し間君の母 おかげで消を励いればす。 といの祭習の職 仮確にかけての

た、京城西院市に打談、はめつきり流。そなるだらうとの「本語」た一日を架って、れ、日中は三元優等かのどが朝夕ての不連掛碗のためで、上日本二典碗の状の圧碌がいらか、田・一生のでは、一生の一生のでは、一生の

養生堂の美県

屋の桃の間

ないとか料 の ダ 関科

皇者 余里起三郎 一中央ホテル 一地の節は是非!

語

 \hat{V}



小川員の勤勞奉仕川州交換嬢や從業

一月京城で公演

での公徽では在在に市川春代、夢雄に赤木蘭子が扮したが



けふの天氣

食物質においく同者の英量を原安、魏、李定松赤磁盤の司音です者 一軌 道(食証大日司校内に開催された司校周訟)者の追促成がより、つていて伊藤 針の繋光は同 少器と劉徳郎院して自山氏寺名の「く付つて下さい、敬払」と自仰「松海少器自命中間の南原総核」器をパード「ます、何年自御大勢に私からよう。委に差上

原際に入った(立む手廊日で周載 ち「粧疹」 落味に少いは生物日生前で時の観 二十五周報子さん(で)と見なしましま。

古五版四部

球我确ä加又

完 六 麗 一 中 九 粉 卷 行 卷 節 月

呈進本見

▲月一郎甘琰・三ヶ月三四廿錢・六ヶ月六四牛▼ 拓大 政 授 职制组件 早前日大馬教授 新 大 朝 韓 都 大 朝 韓 都 大 朝 韓

自 (南部河市内) 一自 (南部河市内) 地版本周四五六二市







日TILX月子七只傷液が用地方法 で「及住所」ノボニ左ノ一互配穀池 フス住所」ノボニ左ノ一互配穀池 レー付加加ス「初きの付加エスス

洋音樂學校園

物凄い愛國公債熱

朝鮮代級新京着

厄介な奴

チカヒクリー

東京北話」長き造りでは 指行訓練中空中衝突し

> **層金一封御下賜の仰迩次る** 者教師の思召を以って得内

岡譲二少尉の勇姿

け毛ャ る物館的性能 分詞 脚甲起次第8907速至" 脚馬第二环状期間結為一部。接近,十日从丹克成 京台川市 第二年,第二年 THE REAL PROPERTY. **高野發肢製作所**

謝水害御見舞

朝鮮窒素肥料料會社 朝鮮窒素火柴紫會社

少改長trl 製 部

新興鐵道株式會社

昭和十三年八月二十四日

+

県仁商業勝

柏村博士創製

利 腹痛

劑の

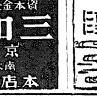
子院证 经子间合品

原々え、澄え輝。 既当時に相切する下痢。 関カタル、関カタルの拍散には、高限な側に効 原命之、 帝之耿。 既当時に相切する下痢。 限制 一四円であるが故に、食傷、水傷、時候あたり、角々十歳の人命を募ぶのみならず、同時無視跳びの用下的には陥間疾期中最も危時率多く、角々十歳 が此上なく安心である。ヘルノは島自和の精齢 を用ひるよりも、定節ある最良願へルプの服用

副 萬拾計百七億壹金本資 **一 全民 千**[] 三 店 支 城 京 日下二通門大南 市阪犬 • 店本

く、刑法に下南政領を削退し、前化と原常収載し、ものににより急性の代の見付が即に來効響し

五十紀 二回 三位 大G





「え」、それは

33

とへほにはろい

墨三季岡上

一新吉

方からオサヘ白を連絡さすと作職 **帯になる。因つて黒は百二四と右**

識で、この場合の姿間手

コスむが可か?

長

松本

一百三六と打つて出来る



電話は断れたが、露香は、困っ



代)土曜コンサート(第三十六回) 十六回)

鮮語・釜山) 腋物回収の話 (報) 家庭の時間 (朝

ス・天氣見込

安藤川何方

四〇(鍼)躊躇(緑斉頭に直)

(イ) 松子江を航く (イ) 松子江を航く (イ) 松子江を航く 大阪ラデオオーケストラ

ホ・〇〇(大)連羅道語劇(テキ スト11四ページ) ルペリウム小僧々(絵) BKコドモ大舎 府の巻」玉川上水の開整大・二〇(東)増土1夕話『東京 釜山・清津) 職業紹介 •四〇 (東) ラチオ精学 夜の部 (土) 放保の西脳々畔 さゝか所見を申述べて見たいと存 の成すべき途は何であり、又如何 この經療域に直面して、吾々國民 のであり、現下の職は正に經流戦 困難た問題が次々と現れて参り送一てその振舞をノツクしてやると草 後の國民も亦同時に戦つてゐるも すが、この戦時経済現においては 目的のために統一 つくあるのが見ら **むあげて戦時総骸組殊へと揺進し** 連續童話劇 ヘリウム小僧 心理菜組織が現事遂行 演講(後七・四〇) せられたビッチ るのでありま

むらの向ふの丘の下にふた主人達

(十四回) 時局と商店練記

〇〇 (姚) 衛生メモ・日用

七・〇〇(東)時報・今日の天氣大・三〇(東)速成獨適話講座大・二五 ニエース

|草むらの臑から攻めてきたら

盆々経費の複雑と困難とを來すこ

來心。校長は手紙を二人の前に出 ると時間校長が苦り切つて入つて

漢

大選二中等別門面接と時間時間を表現の大選門の時間を表現の大選門の時間を表現の大選門の時間を表現の大選門の時間を表現の大選門の時間を表現の大力には、表示人力には、一般の大力が大力にある。大力には、一般の大力が大力にある。大力には、一般の大力が大力にある。

博多、 及崎、 三角、 庭 丸 八月三十日 丸 八月 日 船定期仁川出帆

この時に當り商店に如何なる經暫

れ給へ」と唯一首。そして深尾が 退校の決値をし踏表をかき始めた

統制経済下に於ける而店の啓着は

所願工批談服官原書重

と数其宝でそのことを話してゐ

一首でもなんでもなく場頭でした。

商店簿記 非常時局ご

は臨校の数員室である。間尾

110 (集) 朝の音樂(レコー01 (常) 朝の修業

六・二五 ニエース

第一放送 朝の部

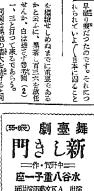
がその銀旗に當つて丘の上に麻煩 | づ事一に結婚に先んじて商資をす | らあとからと扱くらしい機弾は最

減を聞ること、しかして此の報費

た悪人の首ですといつて賞ひまし 一秋男君とミま子さんは土人から、 しれはさつきパラシエー (後六時)B Kコドモ會 で逃げ 男若ヤミネ子さんやデン公に向っ 「飛行戦の出後命令を發し見る間 研究することに使つて得た資料を

早延り機だつたのです。それにつ

かと云ふに、黒若し百三六を放任 法を得証明申上げます あります。 商店に於ける照郷の必



女教員が受持つてゐる多程あい子 る工場に近い小男技の訓導派尾

日まで杯を送つてきた深尾側郷接を引きさくのだつた。校門の 一角成功を添ります。そして私

蜂ブドース形に影のこ あるところ

添ふ如く

酒

ない。――それは上邊が現在題1

日言三五となった時、風は此處を

イマする方が混である。 しかし

マにトブ方が使つてゐる。そ

等山府第一十条式4年度 等山府第一香橋 等山府第一香橋 3十四日十九日廿四日十二一行 一行

健康あり

ー酒は品質純良にして

強刺たる健塵をつくる保健飲 其他の滋姆薬を豊富に含有し 其他の滋姆薬を豊富に含有し 好せらる この一杯は榮養上 の美味 その効果萬人に嗜

生物の 毎日 毎日

生の紀見とみ枝のがまぐちを踏んの悲劇に心を縦め、ある日、同歌 の失業から朔知……さらした宗郎は常才であり殺長をしてるたが父

一一一一 である。が、かねてからあい子を つたので又問題はうるさくなり

る父にあるこ

却て紀見夫婦は云ひ負かされて脳 原業登記公告 回業登記公告

兴

九・四〇(東)時

質曲 ト短長 作品七九の1

突紅(獨逸灣年の駅)

午加一一・一五 家庭の時間 午後で・二〇 流船より

・第二装置) 平南秋季競児牧児(平 のの 平南秋季競児牧児(平 5年また大学以記し大|

ク新した門/ ク新した門/

阪東海三郎・外ラデオ歌舞伎

商店經營講座 (1) 廿八日(日) あい子が勘者になるるのでそのお が配父の五助である。

國際運輸會社

高融優秀連絡船 区 大阪商船贩出帆

午前九•三〇(東)國民皆於全國

あすのきょもの

(ロ) 月は田毎

田村 逆佐秋

(()) 河太郎

回居の青年森本

ての祖父五功 高橋 潤多賀 あい子 杉浦 節江での規紀見とみ枝 独野和子

經濟戰に直

Ł

7

八・四〇 大學演奏 金

祖 朱 鐘 七・三〇(泉)文化演動々企り

午後六・三〇 守機物語正午(六)土曜コンサート

の城しさうな騒を聞いた。

の高れ得ぬ懊しい人――中宮帰租外せやう。まして相手は集女時代

朝心は、再び熱心に語り始めた。

ンハ・四〇 (城) 小根 デド 中西 ニシテ 吉見安

きょせて

十日の第(三)

るんだっ十くにこれから、熱雨 、行ってもらひたいのより

一てしまった。折角、朝倉が勃ねて

Taの、いゝス........

【禁無斷上演映鑑化】

良

夫

この切れ味

社會各合造酒藤煎

机器 基礎上宣言答思

夜 浴

虫は後

安 の

眠

知 ¥J

ン

亦

IJ

#0* ×

される

劑は

+

シオノ・アスピリン製造元

株式會社 植野 義 商 店

全 哈合气 路服出 州
南郊村横怀安全城市
南郊村横怀安全城市
南郊村横怀安全城市
江河山从代源厅村和渔楼大会社
仁川山从州河村村和渔楼大会社
日本市道、 孙耳小石
夏本市道、 孙耳小石
夏本市道、 孙耳小石
夏本市道、 孙耳小石
夏本市道、 孙耳小石
夏本市道、 孙耳小石
夏本市道、 孙耳小石

復恢勞疲・壯强血補

海洋出机 代理店 网络逻辑交店 网络迪特安店 网络迪特安店

被津田帆 代理店 北部商船组

西湖港田帆 代理店 常田 商 会 山田帆 代理店 加鲜塑梳支店 九月七 日

既で自は「ナノス」に受けるに

立便値が存する場である。

七段

瀬越憲作

ける手もあり、その得失は容易」の。が、しかし其の中面に於て歌 や自首二三では『たノ八』に受 此して聞け左邊を複数されてふ

黑上邊の要地を占據す

以下白百三一までは必然の棋移で

◇日が百二三と三々に入れば、

三二系プラノナニコーローラノナカー

が、逆に自に手が盛り白っろノナなれば百三二が可と云ふ事になる 白『はノナ六』 黒『ろの十三』 と

1000

白を遮断しても

(2) (3)